議論の中から新発見

◆障害者就労支援施設「愛西の里」民間移管へ

「愛西の里」は指定管理者制度に基づき運営されていましたが、平成30年4月1日から社会福祉協議会へ移管されます。

Q 民間移管される理由は。

A 障害者就労支援施設「愛西の里」は23年度から7年間、社会福祉協議会が指定管理者だったが、一定の期間で交代することが予想される指定管理者制度は、障がい者の通所施設の場合、馴染まないのではないかという考えから、今まで良好な運営実績がある社会福祉協議会へ移管する。

Q 土地建物等、今後の扱いはどうなるのか。

A 市所有のままで使用貸借契約を結ぶ。

Q 今後、建物等が老朽化した場合、修繕や建て替えはどうなるのか。

A 基本的には移管先の社会福祉協議会が行う。

Q 事業が移管された場合、利用者にとって何がどう変わるのか。また、市の直営であれば受け入れていた重度の障がい者の方は今後も大丈夫か。

A 現在、施設を利用している方は基本的に何も変わらない。重度の障がい者の方の相談事業等、移管後も継続していく。

Q 市の財政的メリットは。

A 指定管理料の支出がなくなり、今後、修繕等も移管先が行うので、将来、維持管理料の負担が減る。

▲民間に移管される「愛西の里」

◆佐屋北保育園の廃園が決まる

Q 廃園方針及び実施プランはどのような手続きで策定されたか。

A 保育所等基本方針検討委員会を設置し、市民からパブリックコメントを実施するなど4回の会議を開催して内容を審議し策定された。

Q その後、プランの内容が変更されたが理由と変更内容は。

A 保護者及び地元の説明会で意見・要望があった廃園時期及び開園の時間帯の変更案が、子ども子育て会議で提案され、佐屋北保育園の廃園時期を平成33年度から35年度に延ばし、保育園の開園時間も前後30分延ばす内容変更になった。

Q 保育士確保の現状は。

A 公立私立保育園とも求人を出しても応募が少ないという状況で配置基準の保育士確保に苦慮をしている。

Q 佐屋北保育園が廃園になることで削減できる経費は、施設の改善や保育士の処遇改善に充てることになるのか。

A 人件費、施設維持管理費が削減できるが用途の特定は困難である。

Q 天王幼稚園にこども園を設置してもらい、日比野駅周辺保育の確保は考えられないか。

A 要望はしているが、なかなか難しい。